

天文学の扉を開こう

11月の夜空

【皆既月食と天王星食】

11月8日の夜に皆既月食が起こります。18時9分頃に満月が地球の影(本影)に入って欠け始め、19時16分頃に皆既状態(月全体が本影の中に入っている状態)となります。皆既となった月は、「赤銅色」と呼ばれる、赤黒い色に見えます。皆既状態の間は月明かりが無くなるため、月からやや離れたところのプレアデス星団(すばる)やおうし座のアルデバランと火星の“赤い星の共演”もお見逃しなく。～「11月の星空」参照～

月は約86分間の皆既状態の後、20時42分頃に再び光の当たる場所に出てきて、21時49分頃に満月に戻ります。

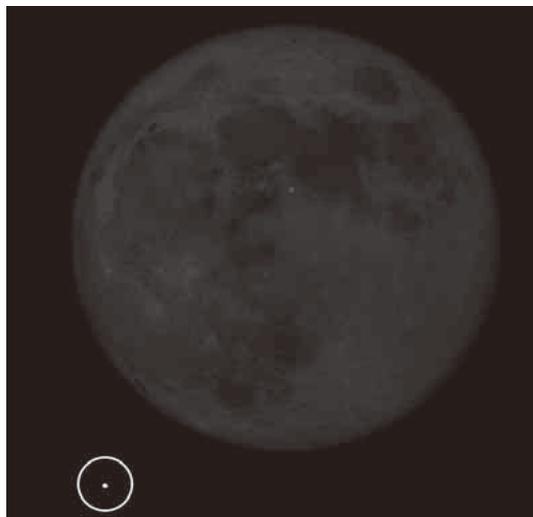
この月食の進行は日本中どこで見ても同じ時刻になります。日の出や日の入りは緯度や経度で異なるのに月食はどこで見ても同時進行なんて不思議ですよね。この理由は月食は「月が地球の影に入る(出る)様子を見ている現象」であることによります。そのため、日本中どこでも同じ様子が見られるというわけです。

さて、今回の月食ではもう1つ天体ショーが見られます。それが「天王星食」です。惑星食とは、天王星などの惑星が月に隠される現象で、比較的多く見られる現象です。しかし、今回のように皆既月食中に見られるのはめずらしく、次回は2235年(部分月食中なら2106年)になります。

天王星は約6等級で、空の条件が非常に良い時でも肉眼で見える限界の明るさです。そのため、できれば双眼鏡や望遠鏡の使用をお勧めします。普段なら月の明るさに負けてしまう天王星ですが、今回は皆既状態の月に潜入するので、空の暗さや位置確認のしやすさから好条件となっています。

高山村から観察：潜入時刻→20時39分頃
出現時刻→21時27分頃

<潜入前20：30頃>



<出現時21：27頃>



11月の星空

○星図の説明

11月15日午後8時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後7時頃にも同じ星空になります(「月」を除く)。



こちら地域おこし協力隊 ～10月の活動記録～

城 智子



こんにちは。地域おこし協力隊の城智子です。

さとのわのオープンからこれまで、村内外から沢山のお客さまに関心をもっていただき、お越しいただきました。

カフェでは現在、秋冬に向けたメニュー開発をしています。加工場でペーストにした、村のサツマイモを使ったジェラートがおすすめです！秋の味覚を味わいに、さとのわへ遊びにきていただければと思います。

お待ちしております。



西角麻美子



こんにちは。高山村地域おこし協力隊の西角麻美子です。

栽培しているワイン用ブドウが、収穫まであと少しとなりました。

最近は、そのブドウのお世話とワインの販売に向けたラベルデザイン等の準備のほか、さとのわカフェでのサポート活動を行っています。

今年は天候が不安定で、ちゃんとブドウができるかヒヤヒヤしていましたが、頑張ってお世話しましたので、良いブドウが育っています。皆様にお披露目できる日を楽しみにしています。

